



黒木っ子 黒木魂

Kuroki elementary school

薩摩川内市立黒木小学校

R 5 . 9 . 5

確かな学力の伸び～6年生全国学力・学習状況調査の結果から～

黒木小学校 校長 平山 淳郎

本校が、小規模校の強みを生かしたきめ細かな教育の推進に力を入れていることについては、これまでもいろいろな機会を通して説明してきました。今回は、その具体的な成果として、4月、全国の全6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の状況と現在進めている学力向上対策について紹介します。

♥ 反復練習と個別指導の継続による成果～6年全国学力・学習状況調査～

右のように本校の6年生は、県や市の平均を大きく上回る結果となりました。5年生の夏休みから、過去の学力検査等の問題を活用した復習を継続し、効果的な振り返りの場・機会をつくってきました。そのことにより、既習事項の定着が図られ、確実にできてほしい基礎的・基本的な問題の正答率が向上してきたものと考えます。また、粘り強く問題を読み、なんとか答えを導き出そうとする意欲も高まってきている印象です。

	国語	算数	平均
本校	82	78	80
県	67	61	64
市	65	59	62
対県	+15	+17	+16

【全国学力・学習状況調査の正答率(%)】

6年生は、全国学力・学習状況調査だけでなく、知能検査やNRT検査の数値も大きく向上しています。

以下に示したのは、本校が現在進めている主な学力向上対策（3視点7具体策）です。

5月号にも掲載いたしました。一部見直しております。

視点1 授業改善の方向性の共通理解・共通実践と学力検査結果分析の効果的活用

① 「黒木ベーシック」を基にした授業づくりをします。

「黒木ベーシック」とは、授業を計画したり進めたりする上での黒木小学校が独自にまとめた基本的な方針です。単元全体を意識した計画づくりをする、授業を終末から（ゴールイメージから）組み立てる、意識的に確保する活動の確認などです。

② 学力検査の結果を授業等に生かします。

指導計画の軽重や年間を通して重点的に取り組むことで弱点補充につながる活動へ反映させます。



視点2 意欲的に学習し学力向上対策が効果的に機能する学級集団づくり

③ 子供が相互に聴き合える関係づくりをします。

学級における良好な人間関係づくりと学習のしつめの徹底の視点からめざす子供の姿を決めて指導しています。「話しかけられた時に、しっかり返事したり反応したりできる」「相手を見て内容を考えながら話を聴くことができる」「チャイムに響き、静かに落ち着いて授業に入ることができる」「机上に学習用具の準備がしっかりできる」などです。

④ 安定した学校生活を送るための基盤づくりをします。

基本的な生活習慣の育成を通して、学習に対する意欲を高めたり構えをつくったりしています。早寝・早起き、あいさつ、言葉遣い、姿勢、聞く態度、当番活動などをしっかりすることなどです。③子供が相互に聴き合える関係づくりともリンクしています。

視点3 良問の意図的・効果的・累積的活用による補充指導の充実

⑤⑥ 学力検査過去問題、単元テスト・県版テスト等を繰り返し活用し補充指導します。

⑦ 教科書・指導書の練習問題、ドリル・ワーク等で適時の補充指導をします。



第1回寺子屋「黒木塾」



7月17日(月)海の日の午前、黒木コミセンで第1回寺子屋「黒木塾」を行いました。小中学生、保護者、地域の方々約40名が参加しました。今回は、3名の講師に来ていただき、県立鹿屋特別支援学校の坂中先生には「与えられた時間をどのように使うのか～日常生活の大切さ」という演題で講演を行っていただきました。坂中先生は、県下一周駅伝肝属チームに所属しており、これまで19回出場、区間賞9回の実績の持ち主です。また今年度から陸上競技クラブチーム「Kmtk Jr」を立ち上げ、いち早く部活動の地域移行も見据えた取組を軌道に乗せている方です。「与えられた日常の時間は一日24時間誰でも同じ。」それを目標達成のために効率よく計画的に過ごすことがとても大切であることなど、生き方についての学びを得ることができました。



二人目の講師は、薩摩川内市立永利小の東別府先生です。東別府先生は普段は小学校教諭ですが、国体冬季大会スキー大回転の県代表の選手でもあります。また、地区対抗女子駅伝川薩チームの主将でもあります。東別府先生にも時間を有効に使い、自分の理想を実現する生活にしていくポイントなどを教えていただきました。



三人目の講師は、丸武産業の田ノ上さんです。丸武産業は、大谷選手をはじめエンゼルス選手がホームランを打った時に被っている兜製造会社の社長さんです。もともとは、黒木小から100mほどの場所に「丸竹」の冠で竹竿を作っていた会社です。手先の器用だった初代のお爺様が趣味で兜を作ったところ、周囲の方々に好評で国内の映画会社東映からオファーがあったそうです。今では、兜のシェアをほとんど持っている丸武産業の快進撃の秘話、社長が大切にしていることなどを聴くことができました。

第1回寺子屋「黒木塾」は、3名の講師の方に来ていただき、とても充実した学習会になりました。講師の先生方、参加していただいた方々、ありがとうございました。

黒木夏祭り



8月13日(日)18:00～「黒木夏祭り」がコミセン駐車場で行われました。子供たちは、15:00に集合して、出店の準備を行いました。その後、各家庭で作った灯籠を大楠神社に持って行ったり、コミセンで「黒木鷹踊り」の練習と着付けを行ったりしました。舞台発表は18:00～でした。3年生は、今回が黒木鷹踊りの発表が初めてでしたが上手に踊ることができていました。高校生や中学生も一緒に踊ってくれました。来年度以降もいろいろな行事等で披露し、後輩たちに県指定無形文化財「鷹踊り」を引き継いでいってほしいと思います。踊った後は、スーパーボールすくいと射的の出店で、グループごとに時間帯交代で店番をしました。4年ぶりに開催できた黒木夏祭り。保護者や地域の方々、また外部の方々もたくさん参加し、大いに盛り上がりました。



P T A親子愛校作業・空瓶回収



8月27日(日)午前にP T A親子愛校作業と空瓶回収を行いました。P T A親子愛校作業では、校庭や裏山の草刈り、剪定作業等を行いました。暑い中でしたが、中学生やP T A O Bの方々、地域の方々にもお手伝いいただき、スムーズに作業を進めることができました。その後は空瓶回収を行い、収益金は9030円でした。P T A特別会計に計上し、大切にに使わせていただきます。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。気持ちよく、2学期のスタートを切ることができます。



2学期始業式



9月1日(金)にいよいよ2学期が始まりました。児童12名全員が朝7時半までに登校し、張り切っている様子が覗えました。始業式では、谷川駿さんと藤井美桜さんが夏休みの反省と2学期に頑張りたいこと等を発表し、みんなから拍手をもらっていました。

81日間の2学期がスタートしました。閉校記念校区合同秋季大運動会をはじめ、各行事が黒木小学校最後となります。子供たち12名と職員8名計20名で2学期も頑張っていきますので、応援よろしく願いいたします。